

ご挨拶



新潟原動機株式会社
代表取締役社長
犀川 淳一

はじめに、今年3月11日の東日本大震災により被災された方々に心からお見舞い申し上げますとともに、亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。東日本の復興と、今回の震災をきっかけに見直される日本のエネルギー計画へ、当社としても貢献をしていきたいと考えております。

さて、当社の全社的な省エネルギー活動については、各工場の小集団活動による作業効率の改善を主体として推進しておりますが、平成22年4月1日施行の改正省エネ法に基づき、組織強化した「環境管理会議」を主体に、真空浸炭炉導入によるエネルギーの削減、照明器具の効率化、自動販売機の電力削減など地道な活動を含めて推進しております。

環境技術としては、平成22年12月に、国際海事機関(IMO)の窒素酸化物(NOx)2次規制に対応した、世界最高水準の低燃費、軽量化を実現した環境対応型船用中速ディーゼルエンジン「6MG28AHX」2台を初出荷しました。本エンジンは、沖縄県離島海運振興株式会社殿所有の貨客船に搭載され、大東海運株式会社殿が運行し、沖縄本島と南・北大東島をつなぐ定期航路で運行されます。

また、窒素酸化物(NOx)3次規制対応としての、船用SCR(選択接触還元法)脱硝装置の実船船上試験が平成22年12月に終了しました。これはIMOのNOx3次規制に対応した環境対応技術の実用化試験で、内航貨物船に脱硝装置を搭載して実際の就航条件下において、3次規制が定めるNOx80%削減等を確認いたしました。本実用化試験は、平成23年度も継続して実施し、耐久性なども含めた評価を行います。

当社は、ディーゼルエンジン、ガスエンジン、ガスタービンなどを製造しており、これらの製品の環境への負荷を継続的に軽減するために、今後も熱効率改善や窒素酸化物削減など環境技術開発を強力に推進していきます。

今後とも、弊社の活動に対しまして、ご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。